

令和2年度 入札監視委員会議事概要

東北防衛局

開催日及び場所	令和2年12月14日（月）仙台第3合同庁舎2階大会議室
委員	委員長：伊東 満彦（弁護士） 委員長代理：石綿 はる美（大学院准教授） 委員：梶川 伸哉（大学教授） 委員：棚橋 則子（大学講師）

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	東北防衛局：令和2年4月1日～令和2年9月30日		
審議対象件数	55件		
1 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）			
抽出件数	5件	（審議概要） 1 契約状況の説明 2 抽出案件の概要説明 3 抽出案件の審議	
建設工事	一般競争		0件
	一般競争（政府調達協定対象外）		2件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	企画競争		0件
建設コンサルタン卜業務等	公募型プロポーザル		1件
	一般競争（政府調達協定対象外）	2件	
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】</p> <p>○工事 ◇一般競争契約（政府調達協定対象外）</p> <p>【三沢（2）火薬庫改修等土木その他工事】</p> <p>・本件は、公告期間中に公告を取り止め、後日再公告した案件であるが、公告を取り止めた理由は何か。</p>	<p>・当初、工事費の概算額を算定した際は予算内に収まると判断したことから公告したものであるが、予定価格を作成するための詳細な積算をしたところ予算額を越える見込みとなった。そのため、工事内容の見直しが必要となったことから公告を取り止めたものである。</p>	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>・再公告するにあたり工事内容をどのように変更したのか。</p> <p>・本件は、総合評価落札方式のうち地域精通度及び地域貢献度を重視して評価する「地域評価型」の対象としているが、対象となる施工場所は限定されているのか。</p> <p>【三沢外(2) 宿舎改修等電気その他工事】</p> <p>・本件が1者入札となった理由は何か。</p> <p>・1者入札にもかかわらず同時期の他の設備工事と比べ落札率が低いのはどのような理由か。</p> <p>・本件は、施工場所が三沢市内の宿舎と青森県内の3箇所の通信施設であるが、宿舎と通信施設を別々に発注しなかったのはどのような理由か。</p> <p>○コンサルタント業務 ◇公募型プロポーザル方式</p> <p>【三沢(元補)ユーティリティー基本検討】</p> <p>・公募型であるが、応募者は1者のみであり選択の余地がない。応募が1者しかなかった理由は何か。</p>	<p>・環境整備工事のうち芝張工を取り止めた。 また、概算額が下がったことから、参加資格を土木一式B以上から土木一式C以上に変更している。</p> <p>・「地域評価型」の対象となるのは、施工場所が青森県の三沢市内並びにむつ市及び下北郡を含む下北地域内となる工事案件である。</p> <p>・三沢地区において同時期に他の工事が重なり地元業者が手一杯であったと聞いている。</p> <p>・落札した業者は平成30年度に同様の工事を施工した経験がある。 このため効率的な作業ができるノウハウを得たため工事費を抑えることが可能と判断したものと聞いている。</p> <p>・通信施設の工事は管路が数十mの小規模であり、また土木工事が含まれることから、施設ごとの単体での発注又は通信施設のみでの発注とした場合、規模が小さく業者にとって参加意欲が沸くものとならないと判断し規模が大きい宿舎の改修工事と一括で発注したものである。</p> <p>・本件は三沢基地内の電気、給汽、給水及び汚水排水施設に係る基本検討を行うものであり、設備と土木の2種類の分野を組み合わせるものとして検討する必要があるものであり、競争参加資格を電気コンサルA以上として発注を行ったところである。落札後、当省の基本検討の実績のある電気設備コンサルタントに参加しなかった理由を確認したところ、土木の検討に関する協力会社が無く、参加を見送ったとのことであり、結果としてJVが組むことができた1者の応募になったものと考えている。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等</p>	<p>・本件は公示日が6月11日で参加表明書の提出期限が6月22日となっている。この間に業者間でJVの調整等を行わなければならないなら期間が短いのではないか。</p> <p>・三沢基地内では様々な工事が行われているが、今回、根本的な基本検討が必要となった理由は何か。</p> <p>◇一般競争契約（政府調達協定対象外） 【弘前外(2)設備工事監理業務】</p> <p>・同時期の設計及び工事監理業務では落札率が70、80%台が多いが、本件が99.72%と高落札率になった理由は何か。</p> <p>【郡山外(2)隊庁舎新設等土質調査】</p> <p>・落札率が53.69%であり低入札価格調査を実施しているが、低入札となった理由は何か。</p>	<p>・建設工事及びコンサルタント業務については、法令等に基づき年度当初に当該年度の発注見通しを当局のHP等で公表しており、業界紙にも掲載されている。 発注見通しには、名称、場所、期間、概要及び公告予定日等を示しており、業者はこれらの情報を基に公告以前に入札の参加等について検討・準備することは可能と思われる。</p> <p>・電気、給汽、給水及び汚水排水施設等のユーティリティーについては、長期にわたり使用していくものであり、今後の施設整備の方針決定のための検討を行うこととしたものである。 例えば、鋼管とステンレス管のどちらで整備した場合、メンテナンス等でどちらが有利になるのか、また、熱源としてボイラーが良いのか電気が良いのか等を比較検討するものである。</p> <p>・工事監理業務においては、技術者の単価は公表されており、数量は公告等に記載されている。 業者の積算と局の予定価格で差が生じる主な項目は交通費及び宿泊費の算定部分となるが、本件については、落札した業者の算定が他の参加者に比べてより局の算定に近かったため落札率が高くなったものと判断される。</p> <p>・土質調査については、震災関連の事業もなくなり発注件数が減少しているため、入札参加者が多数となり競争性が高まり落札率が低めとなる傾向にある。 本件の落札業者は、地元の業者のため経費を抑えることが可能であり、また主業務である地質調査業務がコロナウイルス感染拡大のため発注が更に減少してきていることから強い受注意欲により入札金額を圧縮したと聞いている。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>・「入札・契約状況調書」によると落札した業者は「履行確実性度」の値が0だが、入札金額が他の入札者に比べかなり低額であるため価格評価点が高くなり、それにより最終的な評価値も高くなったため落札者となっている。</p> <p>地質調査の結果はその後の設計や建物の耐久性等にも影響してくる重要なものと思われるが「履行確実性度」の値が0でも問題ないのか。</p> <p>(総括) 公告から参加申請するまでの期間の件、低入札がなされた際の措置等の疑問点についていろいろ質問したが、説明を受け納得が得られたものと考えている。 当委員会の活動を通じて日々の運用が改善されていくことができれば我々の活動も生きてくるので引き続き取り組んでもらいたい。</p>	<p>・総合評価落札方式の評価基準において、低入札価格調査を実施することになる調査基準価格を下回る入札金額の業者については機械的に「履行確実性度」の値が0となるものであり、当該業者が本件調査を確実に履行できる可能性が0という意味ではない。調査基準価格を上回る入札金額の業者については値が1の評価となる。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について

談合疑義件数	0件	(審議概要) ・なし
工 談合情報	0件	
事 点検結果疑義	0件	
業 談合情報	0件	
務 点検結果疑義	0件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	・なし	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・なし	

3. 入札結果の事後的・統計的分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）

審議概要	・落札率、応札率等の分析結果の報告を行った。	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	・なし	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	・なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回答）

・該当案件事案なし

令和2年度 入札監視委員会議事概要

陸上自衛隊

開催日及び場所	令和2年12月14日(月)東北防衛局(第3合同庁舎2階大会議室)
委員	委員長：伊東 満彦 (弁護士) 委員長代理：石綿 はる美 (大学院准教授) 委員：梶川 伸哉 (大学教授) 委員：棚橋 則子 (大学専任講師)

II 防衛省発注機関が締結する契約(建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
審議対象件数	2,007件

1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)

抽出件数	11件	(審議概要)
一般競争	11件	1 契約状況の説明 2 抽出案件の概要説明 3 抽出案件の審議
指名競争	0件	
随意契約	0件	
意見・質問		
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>○一般競争 第381会計隊大和派遣隊(大和) [再生砕石ほか2件] [再生砕石ほか1件] [玉砂利(0-9mm)ほか6件]</p> <p>・本件(再生砕石ほか2件と再生砕石ほか1件)は、同一公告による入札なのに落札が分かれたのはなぜか。</p> <p>・2件の入札の業者は同じなのか。</p> <p>・玉砂利ほか6件の落札率が再生砕石ほかの落札率と比較して高い理由はなぜか。</p> <p>・市場調査している業者と入札参加業者の数が違うがなぜか。</p> <p>○一般競争 第381会計隊大和派遣隊(大和) [足場パイプほか29件] [足場パイプほか36件]</p> <p>・本件は、同一品目が多くあるが、なぜ同時期に2回に分けて入札を実施したのか。</p>	<p>同一入札ではあるが品目毎総額で実施しており、最低応札金額が業者毎分かれたため件数としては別契約となった。</p> <p>同じである。</p> <p>予定価格に市場調査価格を採用しており、その価格と同額で応札があった品目もあり落札率が高くなった。</p> <p>市場価格調査には回答があったが、入札には参加していない業者があった為である。理由は不明である。</p> <p>予算の範囲内で要求部隊が優先順位が高い品目を必要最小限の数量で要求し、足場パイプほか29件の入札を実施した。</p> <p>契約差額を有効活用するため、再度調達要求して、足場パイプほか36件の入札を実施したため、2回の入札となった。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・2件の内、共通品目はあったのか。ある場合は、その落札金額の差異はどれくらいか。</p> <p>・1回目の落札価格を、2回目の入札で予定価格の参考にしたのか。</p> <p>・2件の落札率に10%以上の差があるが、どのような品目で差が生じたのか。</p> <p>・足場パイプといえば工事の際に必要なもので、工事業者が準備するものだと思うが、その用途はどの様なものか。</p> <p>○一般競争 第381会計隊大和派遣隊(大和) [西原宿舎3号棟火災報知設備補修工事]</p> <p>・本件の落札率が28.16%と非常に低いのはなぜか。</p> <p>・予定価格は何を根拠に作成したのか。</p> <p>・最少人数で入札金額を積算した、ということだが、人数は具体的に何人だったのか。</p> <p>・少ない人員で工事作業することに不具合等は無かったのか。</p> <p>・工事内訳書の内、火災報知設備工事の積算部分が下がらないことには、落札率が低くならないのではないか。</p> <p>・仕様書に示している設置器材は同等以上のものが設置されたのか。</p> <p>○一般競争 第381会計隊大和派遣隊(大和) [コンクリートキャンバスほか3件] 第380会計隊(青森) [コンクリートキャンバスCC5バッチロールほか2件]</p> <p>・本件の予定価格は何を根拠に作成したのか。</p>	<p>共通品目は20品目あった。 当初の契約に比べ2回目の方が高い品目もわずかにあったが、ほとんどが30円から450円の幅で低く応札があり安く購入できた。</p> <p>予定価格の妥当性の参考にした。ただし、事例にない品目もあったので、予定価格は2者から市場調査し最低価格を採用した。</p> <p>2件の共通品目で差が生じた。理由は、共通品目の1回目の予定価格と落札額に差があったため、落札率は低かったが、共通品目の2回目の予定価格と落札額にほとんど差が生じなかったため、落札率が高くなった。</p> <p>用途は、演習場の管理施設の屋根等の部材として使っている。修繕費を抑えるため、工事等は隊員自ら行った。</p> <p>落札業者に確認したところ、作業人員を最少人数で積算した事で、入札金額が下がり落札率が低くなった。企業努力によるものと考える。</p> <p>公共建築工事積算基準を根拠とした。積算できない項目は項目毎に市場調査して最低価格を採用した。それを積算して予定価格とした。</p> <p>具体的な人数は聞いていない。</p> <p>無かった。</p> <p>確かに火災報知設備工事部分と、人件費で落札率が低くなったと推測するが、業者には人件費の分を必要最小限にした、ということしか確認できなかった。</p> <p>仕様書と同じ器材が設置された。</p> <p>(大和) 予定価格は市場調査価格の最低価格を採用している。 (青森) 同じく、市場調査価格の最低価格を採用している。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・青森駐屯地の落札率が、大和駐屯地の落札率と比べて10%以上違うのはなぜか。</p> <p>・大和と青森は品名が若干違うが規格が同一のため同じものだと思われる。どういう形で納品されるのか。 また、単価が約10倍違うのはどのような理由か。</p> <p>・規格が同じなのに単価が違うと疑義を生みやすいので、説明資料を作成の際、解りやすく変更してほしい。</p> <p>○一般競争 第380会計隊(青森) [空調機据付役務] [123号空調機撤去役務]</p> <p>・本件を2件別々の契約にした理由は何か。</p> <p>・落札率が空調機据付役務の77.86%に比べて、123号空調機撤去役務が51.68%と低くなった理由は何か。</p> <p>・予定価格の積算内訳のどの部分に高所作業車が含まれるのか。</p>	<p>(青森) 今回落札した業者のA社は、青森ではほとんど実績のない業者で市場調査もしていなかったため、落札していない業者の市場調査を予定価格に採用した。入札日近くに落札業者から入札参加の連絡があり、入札した結果、他の入札参加業者よりも入札額が低かったため、落札率が低くなった。</p> <p>この物品は1m幅×10mのロール状で袋に入って納品される。 (大和) 同じ規格なのに単価が違うのは単位が違うからである。大和は1㎡あたりを単位としている。 (青森) 単位を1ロールすなわち10㎡あたりを単位としているため、単価は大和駐屯地の単価のおおよそ10倍になった。</p> <p>(大和・青森) 了解した。</p> <p>当初、空調機据付役務の要求書の提出があり、公告したのちに123号空調機撤去役務の要求書が提出されたため、別契約としている。 (青森業務隊) 当初、空調機据付役務の予算が付いたため、その要求書を提出した。同時期に、隊舎の耐震改修工事が令和2年度で実施することが急遽決定し、それに先立ち、空調機を撤去する必要があるため、上級部隊と調整した結果、令和元年度予算で処置が可能であることから、予算をもらった上で要求書を提出した。そのため、要求書が別々となった。</p> <p>123号空調機撤去役務の予定価格の直接工事費のうち、高所作業車の市場調査を含んで積算したが、落札業者は高所作業車の金額が市場調査した価格よりも低い金額で積算して落札したためである。 空調機据付役務は、撤去役務のように予定価格と入札金額の内訳で大きな差がなかったため、据付役務よりも撤去役務の落札率が低くなった。</p> <p>直接工事費に含まれている。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	○一般競争 第380会計隊(青森) [ボイラー2号缶給水ポンプ改修工事] ・本件の落札率が62.5%と低い理由はなぜか。 ・冬季に特に稼働するはずのボイラーの工事を冬季に実施するのはなぜか。 総括 1者応札が無かったので競争性についてはある程度担保されていると思う。 低入札の案件がいくつかあったが、落札率が低すぎる案件もあったので、落札業者から応札額の細部を確認することは必要である。 公共工事の性質上、問題ない工事をさせていくことが公共事業として大事であると思う。	公共建築工事積算基準に基づき積算しているが、官側の予定価格よりも業者の入札額の内訳である現場管理費、一般管理費及び直接工事費等が低かったため、落札率が低くなったものと考ええる。 (青森業務隊) 該当ボイラーは令和元年11月末に故障した。上級部隊に予算を要望し、予算を確保した後で12月18日に調達要求書を提出したため、冬季の工事になった。
委員会による意見の具申又は勧告の内容	意見・質問	回答
	・なし	
2. 談合情報案件の処理状況について		
談合情報件数	0件	(審議概要)
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	・なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・なし	
3. 再苦情処理(再説明請求回答)		
・該当案件なし		